

初春文楽 &裏方見学



「冥途の飛脚」(国立文楽劇場提供)

内容、衣装係を見学・レクチャー

「日吉丸稚桜」「冥途の飛脚」

日時、一月二十五日(日)午後二時半集合

(午後三時見学開始、午後四時上演開始)

場所、国立文楽劇場(地下鉄日本橋駅)

会費、四八〇〇円(定価二割引)

※12月22日(月)までに裏面の通りお申し込みください

大阪早稲田倶楽部・早稲田大学校友会大阪府支部共催

倶楽部関西演劇文化研究会 古田(H4)、浅井(H17)担当

日吉丸稚桜

ひよしまるわかきのさくら

▼駒木山城中の段



斎藤家の居城稲田山城(稲葉山城、後の岐阜城)を攻める駒木山の城主木下藤吉(藤吉郎後の豊臣秀吉)は、主君小田春永(織田信長)より、斎藤家から輿入れた萬代姫(濃姫)を討てと命じられていました。藤吉の家臣堀尾茂助義晴(吉晴)は、恋女房のお政の父五郎助が叔父の仇であることを知り、お政と離縁しようとしています。悲嘆にくれるお政は自害し、茂助は姫の身代わりにするのでした。娘の最期を目の当たりにした斎藤家の旧臣五郎助は切腹し、稲田山城への抜け道を教ええます。五郎助の子竹松は加藤虎之助正清(清正)と名乗って藤吉の家臣に加わります。

冥途の飛脚

めいどのひきゃく

▼淡路町の段

飛脚屋亀屋の養子忠兵衛は遊女梅川に会うために店の運転資金に手をつけ、友人の丹波屋八右衛門に迷惑をかけています。為替金三百両の催促を受けた忠兵衛は、大金を懐に店を出ますが、歓楽街の灯が目に入ると大きく心が揺れるのでした。

▼封印切の段

梅川は忠兵衛を待っていました。現れたのは八右衛門で、忠兵衛の悪い噂を言い立てます。立ち聞きした忠兵衛は憤慨し、つかみかかります。間に入る梅川の手前、忠兵衛は為替金の封印を切り、その金で八右衛門に借金を返し、梅川を身請けしてしまいます。全てを明かされた梅川は、忠兵衛に従って廓をあとにするのでした。



▼道行相合か

夫婦は一つの駕籠に相乗りし、みぞれ交じりの空の下、忠兵衛の故郷新口村を目指して逃れて行きます。

振込先

○郵便局 00940-4-7887 大阪早稲田倶楽部 通信欄に 1/25文楽と記入を。

○三菱東京UFJ銀行 阪急梅田北支店 普通 0067100 オオサカワセダクラブ

大阪早稲田倶楽部 TEL06-6377-2002 FAX06-6377-2003

Mail 125@osakawaseda.jp

参加ご希望の方は12月22日(月)までにこの用紙をFAXかメール送信の上、右記口座に代金をお振込みください

卒年()年()学部

お名前()

お電話()

勤務先※()

ご住所※(〒)

メールアドレス※()

※部分を大阪早稲田倶楽部会員以外の方は必ずご記入ください

初春文楽公演

成年 1/3(土)〜26(月) ※15日(木)は休演
平27 ※演目の入替はございません

第一部 午前11時開演

花競四季寿

彦山権現誓助剣

義経千本桜

第二部 午後4時開演

日吉丸稚桜

冥途の飛脚



文楽

人形浄瑠璃

予約開始 12/3(水) 午前10時〜
〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時〜午後6時]
0570(07)9900/03(3230)3000 (一部IP電話等)
〈インターネット〉※一般のみ
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

窓口販売開始 12/4(木) チケット売場 [午前10時〜午後6時]
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

ご観劇料 ※障害者の方は割引あり(1等一般のみ)
一般 [1等] 6,000円 [2等] 2,400円
学生 [1等] 4,200円 [2等] 2,400円

団体観劇(10名様以上) 営業課営業会員係 まで
のお申し込みは 団体予約受付中 06(6212)5782

字幕表示が
ございます

初春文楽公演 検索

国立文楽劇場 (大阪)
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

第一部

午前11時開演(午後3時10分終演予定)

花競四季寿

はなくらしきのことぶき

新年をことほぐ万才(春)、素朴な娘心を描く海女(夏)、名高い美人歌人・小野小町の晩年を描く関寺小町(秋)、春の訪れを待ち望む鶯の化身が舞う鶯娘(冬)。近畿圏の四季折々の情景を綴った景事(音楽性と舞踊的要素が濃い演目)です。



彦山権現誓助剣

ひこやまのこんげんちかいのすけだち

杉坂墓所の段

すぎのぼり

毛谷村(現大分県中津市)の六助は剣豪吉岡一味斎に認められた刺客でしたが、仕官を断っていました。領主の立浪(立花)家は試合で六助に勝つた者を召し抱えることにします。墓参りをする六助の前に、浪人微塵弾正が現れ、自分の仕官のため試合に負けてくれと頼みます。その後、六助は瀕死の吉岡の家来佐五平から幼子弥三松を託されます。

毛谷村の段

けやぶむら



立浪家の使者の前で六助は弾正に勝ちを譲ります。六助の元を訪れた老女お幸は六助に親子になろうと申し入れ、虚無僧姿の女性は、六助に斬りかかります。その女性は一味斎の養女お園で、実は六助の許婚でした。一味斎が京極内匠に闇討ちにされ、仇討のため京極を探していたのです。お幸は一味斎の未亡人、弥三松は孫と分かり、また弾正が京極の変名であったと知った六助は、助太刀することを誓うのでした。

義経千本桜

よしつねせんぼんざくら

道行初音旅

みちぎはつおんたび

『義経千本桜』より白拍子静御前が愛する源義経の元へ向かう道のりを描く一幕。護衛の佐藤忠信を相手に舞いと戦物語を繰り広げます。華やかで豪快な演奏、花盛りの舞台を背景とした、道行物の代表作です。



第二部

午後4時開演(午後8時5分終演予定)

日吉丸稚桜

ひよしまるわかきのさくら

駒木山城中の段

こまきやまじょうちゅうの段



斎藤家の居城稲田山城(稲葉山城、後の岐阜城)を攻める駒木山の城主木下藤吉(藤吉郎後の豊臣秀吉)は、主君小田春永(織田信長)より、斎藤家から興入れた万代姫(濃姫)を討てと命じられていました。藤吉の家臣堀尾茂助義晴(吉晴)は、恋女房のお政の父五郎助が叔父の仇であることを知り、お政と離縁しようとしています。悲嘆にくれるお政は自害し、茂助は姫の身代わりにするのでした。娘の最期を目の当たりにした斎藤家の旧臣五郎助は切腹し、稲田山城への抜け道を教ええます。五郎助の子竹松は加藤虎之助正清(清正)と名乗って藤吉の家臣に加わります。

冥途の飛脚

めいどのびきやく

淡路町の段

あわじまち

飛脚屋亀屋の養子忠兵衛は遊女梅川に会うために店の運転資金に手をつけ、友人の丹波屋八右衛門に迷惑をかけています。為替金三百両の催促を受けた忠兵衛は、大金を懐に店を出ますが、歓楽街の灯が目に入ると大きく心が揺れるのでした。

封印切の段

ふういんきり

梅川は忠兵衛を待っていましたが、現れたのは八右衛門で、忠兵衛の悪い噂を言い立てます。立ち聞きした忠兵衛は憤慨し、つかみかかります。間に入る梅川の手前、忠兵衛は為替金の封印を切り、その金で八右衛門に借金を返し、梅川を身請けしてしまいます。全てを明かされた梅川は、忠兵衛に従って廓をあとにするのでした。

道行相合かご

夫婦は一つの駕籠に相乗りし、みぞれ交じりの空の下、忠兵衛の故郷新口村を目指して逃れて行きます。



国立文楽劇場 新春イベントのお知らせ

お正月は文楽で!

初日鏡開き 1/3(土) 第1部開演前
黒門市場からの縁起物「にらみ鯛」を披露し、
文楽人形による鏡開きの後、お客様に樽酒を振る舞います。

新年ご挨拶 1/3(土)~7(水)
幕間に、抽選によりお客様へ手拭いのプレゼントが
ございます。

十日戎 1/10(土) 第1部と第2部の間
今宮戎神社の福娘から劇場に福笹が授与されます。

予約開始 12/3(水) 午前10時~
〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
0570(07)9900 / 03(3230)3000 [一部1P電話等]
〈インターネット〉http://ticket.ntj.jac.go.jp/ (パソコン)
http://ticket.ntj.jac.go.jp/m (スマートフォン)

窓口販売開始 12/4(木)
〔チケット売場 午前10時~午後6時〕
※窓口販売用は別席でのお取り置きはございません。
一般 [1等] 6,000円 [2等] 2,400円
学生 [1等] 4,200円 [2等] 2,400円
※障害者の方は2割引(1等一般のみ)。

一般のみの取扱い 12/3(木)より
チケットぴあ 0570(02)9999 [Pコード 434-741]
〔パソコン・携帯〕http://pia.jp/
ローソンチケット 0570(000)407 [Lコード 59013]
e+ (イープラス) [パソコン] http://eplus.jp
〔携帯〕http://eplus.jp/ntj
JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口 ※「みどりの窓口」では12月3日のみ11時からの取扱い



国立文楽劇場 大阪
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(6212)2531(代)
http://www.ntj.jac.go.jp/
地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より東へ徒歩約1分
※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。